

令和5年度神奈川県立鶴見支援学校

第3回学校運営協議会開催結果

開催日時	令和6年2月21日(水)
開催会場	鶴見支援学校
参加者	9名(欠席1名)
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ○第3回開催要項 ○R5学校評価報告書(実施結果) ○令和4,5年度学校運営に係る評価アンケート(保護者)集計結果 ○4年間の学校目標作成に向けて ○令和5年度学校設置部会 ○パワーポイント資料(本日の流れ、各グループ・学部 of 取組内容)
委員からの意見等概要	<p>○校長挨拶 大きな行事も終わり、あとは卒業式を待つばかり。コロナが安定し初めての卒業式。卒業生、在校生の言葉などもあり以前のように時間をとるようにしている。しっかりと練習をしながら進めている。皆様に案内を差し上げているが、いろいろな形で生徒の応援をしていただけるとありがたい。本日は今年度のまとめである。いろいろなご意見をいただき来年度に活かしていきたい。</p> <p>○会長挨拶 地域、各事業書でもコロナが落ち着きだぶ今までの行事が戻ってきた。地域の活動にも多くの方に参加していただいて活発に活動している。本日は、学校の最後のまとめでもあるが、4年間の目標についても触れ、振り返りながらまとめていければ。忌憚のない意見をいただきながらより良い学校をつくっていきたいと考えている。</p> <p>○委員挨拶</p> <p><学校評価部会> ○概要を副校長 具体的な取り組みを各グループ学部より説明</p> <p>○各委員からの質問、意見等 <視点1,2について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの95%ということは保護者には成果は見えている。生徒はどうだったのか、実際に本人たちがどう成長を感じられるか。次のステップに重要。もう少し表すものがあれば。 ・研究と実践が関連性を持って進められている。 ・研究と実践をうまく絡めてすすめられた。これが大事なのではということを経験づけて実践できたことは非常に良かった。 ・学校教育目標の縦と横の両面からとらえて進んで行くことはとても良い取り組み。 ・個別教育計画の活用について中間評価日を設けるよって、全体を進めていくことの大きなきっかけとなった。 ・教育相談票の活用は教育活動とケース会議など相まって良い取り組み。 ・相談票の内容、活用、情報共有の中身について、相談票は多岐にわたっている。机や椅子のサイズについて、日々の支援、家庭内課題についてどのような関係機関につなげていったらよいかなどがある。クラスや学部で話すことが基本だが、それでは情報量が少ないため、こちらの方に声をかけてもらっている。こういう人に関わりたい、つなげて欲しいと話を聞きこちらでメンバーを整える役割をしている。 ・いろいろな相談票が集まってきて財産になっている。次の新たな案件が来た時に以前のケースなどを参考にして支援している。 ・それぞれの組織、クラス学年学部と組織的に問題に対して取り組んでいることはよく伝わってきた。延べ件数として実際に地域連携グループに上がってきた件数やど

のような内容が多かったかデーターを積み重ねて今後の手掛かりにしていくと良い。

- ・身につけたい力を明確化するのは大事。指導者側が意識しないと生徒に伝わらない。
- ・得意不得意の共有は良いこと。得意不得意という言葉は、「できる」ことを得意ととらえる傾向ある。得意が「できる・できない」にとどめないで進めて欲しい。
- ・身につけたい力には、指導されてつく力、自分で考えてつく力があるが、人が見ているところでできている、見ていなくてもできているのかがよくわからなかった。どのように把握しているのか。言われてやるのではなく自分の自己決定権を持って動くことができているのかがわかると良い。
- ・掃除は汚れているからするのではなく、自分の心の掃除をしているというイメージを持っていただけるともう少しやり方も変わってくると思う。
- ・児童生徒に対する学校評価について、全体としてはとっていない。学校生活をどのように考えているかの質問はとっているが、学校目標については、とっていないので今後検討をしていきたい。
- ・できる力は押し付けにならないよう、本人たちはどうなのかが一番重要。
- ・支援学校に限らず、難しいことをいかに簡単に示すことができることが一番。
- ・小中高の系統制については、ずっと前から話に出ている。何を視点にしてとらえてやっているのか、わかりやすく整理できたのではないかな。
- ・わかりやすい言葉、とらえ方で小中高の系統性がようやくできてきた。
- ・具体例として、ほうきで掃くといったことについて、技術的なことだけをするのか、清潔やきれいにする、場所によって役割分担をしてやるのか、自分のことを振り返りながらやるということにもつながる。

<視点3～5について>

- ・アンケート結果を見て、「わからない・知らない」がR4は6割だったのがR5は18%に減らしたのは高い評価といえる。わからないというのがやったのになぜ伝わらないのか。何かPRとか特徴的なことがあるのか。
- ・進路学習会の資料を共有すること。保護者にも小中学部の学習しているところを説明。PTAの進路委員、保護者視点での進路の学習が成果につながったのではないかな。
- ・キャリアパスポートが今年度本格的に浸透して、保護者にも振り返りを提示したので、そのような部分で周知がされたのではないかな。
- ・キャリアパスポートでは、分教室の取り組みで自己肯定感につながると記載されているが、その通りである。小さな成功体験が伸びる力につながる。わかりやすい、記載しやすい、考えやすいキャリアパスポートの工夫をし、わかりやすいキャリアパスポートにつなげて欲しい。
- ・保護者の方と関わることが多いが、進路に関してわからないという人が多い。インクルやサポート校があるが、どこに行ったらいいかわからないと言う人が多い。
- ・地域の事業所において、木工の手伝いをする中で、アイデアを持ちかえて来ることも多く助かっている。学校でやっていたことを事業所で同じようにもやることで、落ち着いてできている。先日の雪の時保護者となかなか連絡が取れないことがあったことが課題になっている。避難訓練をやるが、ヘルメット投げってしまった。利用がわかりやすい提示が必要と感じる。
- ・防災については、地域の方に話を聞くことが多くなってきた。何年か前の台風時に駒岡小学校を避難所にした時にはかなりの人が来た。場所を確保することが課題。福祉避難所は誰もが来て良いところではないと理解してもらうのは難しい。防災に関する意識は高まっている。
- ・台風や災害が全国的にある。非難する場所を設け避難するが、そこからの生活をみんな予想していない。非難グッズをすぐ持っていけるところに置くなど一人一人考えてほしい。
- ・防災訓練で自販機使ってみる。実際に起きたときに使えなかった事例があった。知っている先生知らない先生がいるということはなくしていく。誰が見ても取り組めるマニュアルが必要。
- ・今年(来年度)10月13日(日)地域防災訓練がある地域の方々の訓練に参加して連携を作っていくと良い。

- ・どこに何があるかわかりにくいといったことがあったが、校内で誰が見てもわかるマークのピクトグラムを活用して広げることを行っても良い。
- ・隣近所の方々との連携が希薄になってきているので、コミュニケーションをとっていただいた方が良い。ネットワークをうまく活用できるようにしてほしい。説明する時にかみ砕いて説明する努力も必要。
- ・地域の方が話し合っ活動していくのは、防災や安心安全な街づくりといった面でも意見交換ができるのは良いと思う。うまく、機械や便利なグッズを使いこなせるようにしていくと良い。
- ・警察や消防にも聞いていただき、コミュニケーションをとりながら確認しあえる場が多くあるとよいと思う。
- ・警察と学校との連携では、学校警察連携制度がある。年に何回かの意見交換会がある防犯連絡協議会というものもある。町内会を通じて連携して警察と意見交換会を行いたいと上がれば行く。警察も地域の方の要望や取り組みも知りたい。情報発信もできお互いに良い。
- ・働き方改革について、ちりつも大作戦は楽しみながら工夫できるところが良い。教員の仕事は増えている。あまり広げすぎないことも必要。もう少しやりたいくらいがちょうどいい。全部やるのではなく、これは来年といった工夫もある。
- ・学校がきれいになっていくことは子どもたちにとっても良いこと。学校の環境整備少しずつ進めていく。
- ・職員の働き方改革があまり進んでいないのが気になった。職員の方の負担が増えているのではないかと感じる部分がある。何か新しいことを行うときには職員に負担がかからないようシステムの見直しもやっている。
- ・コロナが明けて地域によっても差が出ている部分はあると感じる。復活や様子見もあるが活動を終了するところも増えてきている。コロナを契機に元に戻すよりは、負担であったものをなくしてくというように感じる。
- ・働き方改革については、先生方は児童生徒のために良いことをやっている。今年取り組んだことが次の年がベースになってしまう。保護者にとって、それが当たり前になってしまう。何かやったらひとつ削ることをしないと、教育は大変になってしまう。とてつもなくハードルが高くなり教員になる人がいなくなってしまう。スクラップアンドビルドに取り組んで欲しい。

<学校設置部会 キャリア支援部会>

○協議テーマ

「身につけたい力の明確化、キャリアパスポートの作成等、今年度の取り組みと今後の方向性」

◎キャリアパスポートの取り組みは成果が見えやすい。

：アンケート「分からない」を今後保護者との共有が課題。

家庭調査票に本人の願い、保護者の願い等書くものに図式化したのが伝わったか。



より進めて行くことと、それぞれの生徒に、保護者に願いこととして理解を進めていくことが必要。

- ・「身につけたい力」保護者の希望か、生徒のものか、本人発信かともすれば押しつけになってしまう。e.g. 雇用部会で『ステップアンド50』
- ・鶴見区の特例子会社が協力できることある。(保護者会等)
- ・本人の視点、従来より増えているところもあり。e.g. 分教室のマンダラートの取り組み。本校でも少しずつ進める。それがキャリアパスポート。
- ・ICTが入ることもあり、それらも活用。e.g. オンラインでの個別相談
- ・保護者のニーズをいかにつかむかが大事。

<学校設置部会 地域協働活動部会>

○協議テーマ

「地域の活動に参加、地域へ出ていくこと、地域の方々に教育に関わっていただくことの、具体的な道筋について」

- ・施設利用者は車で移動で社会との関わり、地域との交流が減っている。
- ・大曲広場も花を植えてほしい
- ・防災担当とチームワーク作って地域とやっていきたい
- ・子どもたちが地域へ出ることをもっと増やして行ってほしい。
↳桜や花を見に行くなど
- ・作業所の方々がお寺の掃除に来てくれている
- ・何年も続けているので周りの理解が広がってきた。周りにどうやって知ってもらうのか、工夫していきたい。地域の方々とどうやってつきあっていくか考えていく必要がある。
- ・居住地で活動する機会を増やし、もっと知ってもらう必要がある。
- ・鶴見推進フォーラムでフードドライブの発表をした。ボックスを置いて、回収してくれているところもある。
- ・普段から顔を合わせておくことが大切。

④本日のまとめ

(会長より)

今年は対面でできたことは非常に良かった。皆さんからいただいた意見等はホームページにもまとめて載るのでご覧になって、意見を学校に伝えていただければ。

(校長より)

- ・今年の目標の成果に対してのご意見をいただき、4年間のひと塊の大きな学校経営運営の達成度を評価し、その後の4年間の4年間の目標の設定をしていく。これからの4年間の目標を本日の意見を受けて膨らませるような形で、職員と考えていきたい。
- ・来年度の学校運営協議会委員について、基本的には1年間の契約となっている。本校の実情を理解していただいている方に、ぜひ継続で次年度も委員をお願いしたいと考えている。もしも不都合等あれば、知らせて欲しい。継続が難しい場合は、後任の方を推薦していただくと大変ありがたい。
- ・来年度の学校運営協議会では、協議会の中に有識者による第三者評価が加わり、毎年学校経営に関するご意見いただくことになっている。有識者を2名設定する。最初とまとめの時にご意見をいただく。今後、有識者2名をお願いする時には受けていただくとありがたい。
- ・今日の意見を大切に、皆さんの意見が職員の力になる。いろいろな形で背中を押しただけでとてもありがたい。きちんと職員と共有していきたい。

⑤事務連絡

次年度は今年度と同様に、6月に第1回目。